

真冬の子ども図書館フェスティバル開催！

2月10日(日)・11日(月)の2日間にわたり、「真冬の子ども図書館フェスティバル」を開催しました。

このイベントは、楽しみながら図書館について学び、資料と触れあう機会を設けることにより、子どもやその保護者に図書館を身近に感じてもらい、図書館の利用促進を図る目的で実施しました。内容は下記のとおりです。

映写機ってなあに？

時間:10:30～11:20 定員:10名
ミニシアターを使用して、16ミリフィルム映写機の仕組みを知る
16ミリフィルム映写機を使用して映画鑑賞

[子ども映画会]

「映写機ってなあに？」終了後、参加自由の子ども映画会を実施

めざせ！きみも図書館はかせ！

時間:13:00～15:00 定員:10名
図書館の説明
バックヤード見学
児童室を使用して図書館の本の並び方(集まり方)を知る

参加した7歳から11歳までの子どもたちは、みな真剣にスタッフの説明に耳を傾けてくれました。実際に映写機を操作したり、普段入ることができない書庫をのぞいたりした時の子どもたちは、とてもいきいきとして楽しそうでした。また、少し難しいと思われた図書の分類についても、しっかりと理解して課題をクリアしてくれたことには驚かされました。

子どもたちは体験を通して、今までより図書館を身近に感じてくれたようです。今後もこのイベントを続けていきたいと考えています。



アイーナ内連携の取り組み

ご存知のとおり、アイーナ内には、岩手県立図書館のほかにも、様々な団体が入居しています。当館では、相互に利用促進を図るために、アイーナ内の各団体と連携して、下記のような取り組みを行っています。

各団体のイベントなどに合わせ、当館所蔵の関連資料の展示やブックリストの作成

各団体のイベントや講座のチラシ・ポスター、広報誌の掲示。

講座などで使用する映像資料の検索などのレファレンスサービス

月一度、図書館と各団体との意見交換会の開催

図書館スタッフによる各団体の見学 など



このコーナーでは、岩手県立図書館で行っているさまざまな取り組みを紹介します。

検討しなければならない課題は多いですが、話し合いを重ね、それぞれの役割を相互に理解し連携を深めていくことで、図書館のサービスに反映していきたいと思っています。



2月に開催した国際交流センターとの協力展示の様子

手づくり玩具で図書紹介

1月の企画展「郷土玩具とわらべうた」に連動して、手づくりおもちゃの図書を紹介し、スタッフがその図書を参考にして作ったおもちゃと一緒に展示しました。実際に図書に掲載されているおもちゃを作ってみることで、図書の紹介文がわりになればとの意図でやってみたのですが、思いのほか好評でした。子どもだけでなく、大人の方も手に取っていただきました。

